

まちづくり大茶話会(カフェ)・しんしろ
～各班の発表～

平成22年6月12日

①色々な思いある

すでに色々やっている方が集まった
しかし、今、財政キビシイ
→思いを行動にしないと
～今まで以上にコミュニケーションを

②「笑顔がいっぱいのまち」に

・活発な女性～小さなまちだから
～なんでも活動できる
・女性がこれからは提案できる。声がきける社会に
・既成概念こえて・・・
・移送の問題。できない人をどうするか
・教育が大事。人づくり

③色々な人がいる。～お互いに交流する。関わる

自然を守り、地域をつよくなる
今日はいい会。～情報発信。輪を広げる

④1)課題～話し合うネットワークをつくる必要あり

2)地域担当制～うまく利用。情報吸い上げ
3)意見をいいやすい場にあつめる
子供会などに出むいて意見をきく
4)困っていることをしっかり把握
→具体的対策を

⑤「つながる」

～人と人
・情報共有
・地域の再発見
↓
情報をタレ流す

⑥必要なこと

～人まかせではなく
自分自身、同じ意見もっている
人と動けば実現する。

⑦必要なこと

～人のつながり
コミュニケーション
↓
気づきをうむしくみ
文化、自然などの
↓
メッセージを伝える
(年配者など活かす)
人が元気になるように

⑧ここに来ている人たち

～活躍している人
→先の話ができるまちに
(「負」をせめるのではなく)
普段のくらし“安心”

⑨ソフト、ハード2種類

～こういう場に参加してみて
意見いう経験
～自分の市を良く知る(発見)
～職場がないと住み続けられない
～森林資源など

⑩市が大きくなった

よいまち～観光、自然、文化など
～市民が共有することが大切
「よいまち」と実感
地域の活動～参加できる仕組み必要
～人のつながり

⑪人のつながり

～小さな市の中で旧3市町村のカベを感じる
→みんな仲よく
つながり～お祭り、JC活動
地域のことを知り
一歩ふみ出したい

まちづくり大茶話会・しんしろ
～各班の発表とまとめ(松下教授、市長)

平成22年6月12日

⑫地域の小さなつながりを広げる
若者が住みたくなる市に
～市外の人に見てもらおう(イベントなど)
交通(足)の確保

⑬お金がない
～なくてもできる方法を
～住民の力を動かす方法を考えよう
「特区」がとれないか?
考えてみたい
ひとつひとつの課題→バラバラ
～どっちに向かっていくのか?
市の3つの係が一緒にやったら?
農業と交通の話がでた
そこそこらせるまちに

⑭1. 2話～どういうもの
自然、農村、山村
～共通の意識
作手、鳳来、新城
～それぞれ特色
～お互い知り合えていない
→交流必至
地方大変～住民の知恵の出し合い
情報共有の仕組み必要

⑮地域をもっと愛する気持ち大切に
地域にもっと関心をもとう
→市民大会のようなことやったら?
病院・交通
今日のおつまり～いろんな方がいるが
向いている方向は一方向では?
↓
お互い否定でなく手を取りあえたら、
すごいことできるのでは?

〈松下〉
・発表がうまい!!
～技術でなく、前を向いているかどうか。
・今日の意義
今日のカフェ～全国で例がない
和気あいあいと意見交換(うでぐみでなく、笑いも)
→雑誌に書かないと!(注目)
だまされて来たけど面白かった
～自分の意見を聞いてもらった→良いこと
～自治基本条例の目指すものの1つ
自治～今日みたいに一緒に話しをして
考えることなのだと思う
→こういう場のつみ重ねが大事

このカフェ
～あちこちで「出店」ひらいたら?
いろんなテーマで
～自治の広がりがいきていくのでは
(地に足のついた)
うまくいくかと心配したが
みんなの目を見て、「良かった」と思う
→もう1回みんなでやりましょう(形がみえてきたら)
→しんしろをいいまちに

〈市長〉
・松下先生～講演などで言ったこと
～どういうつくり方をするかが大事
・自治基本条例をつくるプロセスで生まれる
集まりや出会い
→まちづくりのしくみに
どう、うまく組み込めるかを考えないと
・どうしても、人は集まらないと
話し合い、理解し合う
～決め方をきめる→合意
→どういう規模でも必要なこと
⇒つみ重ねで新しい制度システムができる

・昨年からの市民討議会
・市民モニター～沢山の応募
・今日のおつまり
～いろんな人に呼びかけて集まってもらいたい
→ここでのエネルギー
意見交換
つながりそのものに価値がある
↓
条例にどう活かすか問題

・安全・安心
・自然を守る →5万市民の総意と思う
最大の財産～大切に→条例に